

# 図書館だより

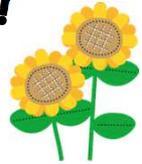


平成26年 7月14日(月)  
 梶原学園図書室 発行  
 8月号

**もうすぐ夏休み！！本の貸し出しがいつもとちがいます！！**

7月16日から **ひとり3冊** 借りることができます！

夏休みに借りた本は **9月5日(金)** までに返しましょう！



## 夏休み中の貸し出しについて

夏休み中も本の借りかえができます。ページ数の多い本に挑戦したり、いろんな分野の本も読んだりしましょう。

★貸し出し時間 8時30分 ~ 4時30分まで

★貸し出し数 3冊まで

☆職員室の先生に「〇〇です。本を借りにきました。」と声をかけてから自分の個人カードを持って図書室にきてください。

## 夏休みおすすめ本！（第59回青少年読書感想文全国コンクール 課題図書）

一・二年生	 <p>「まよなかのたんじょうかい」 西本鶏介：作                  今日（きょう）はさきちゃん（さきちゃん）の誕生日（たんじょうび）。だけど、タクシー（た็กซี่）の運転手（うんてんしゅ）をしているお母さん（お母さん）は、仕事（しごと）が遅（おそ）くてなかなか帰（かえ）ってこない。お母さん（お母さん）になにかあつたのか・・・。</p>
	 <p>「ミルクこぼしちゃうだめよ！」 福本友美子：著者                  ペンダ（ペンダ）は、山（やま）の上（うへ）のお父さん（おとうさん）にミルク（ミルク）を届（とど）けることにした。頭（あたま）の上（うへ）のミルク（ミルク）を1（いち）てきもこぼさず（こぼさず）に、ちゃん（ちゃん）と届（とど）けられるだろうか・・・。アフリカ（アフリカ）を舞台（ぶたい）にした絵本（えほん）。</p>
	 <p>「どこかいきのバス」 井上よう子：著者                  お母さん（お母さん）とけんか（けんか）をして、家（か）を飛び出（とど）したぼく（ぼく）の前に（まえ）に「どこか（どこか）いきのバス（バス）があらわれた。このバス（バス）、なんかへんだぞ。乗り込（のりこ）んで行（い）きたい場所（ばしょ）を言（い）ってみると、たちまちバス（バス）のかたち（かたち）がかわって・・・。</p>
	 <p>「ひまわり」 荒井真紀：著者                  うつくしい細密画（さいみつが）で、ヒマワリ（ひまわり）の一生（いっしょう）を描（えが）いた絵本（えほん）。種（たね）から根（ね）がのび、芽（め）がでて、葉（は）をつけぐんぐん（ぐんぐん）と背丈（せたい）をのびし、つぼみ（つぼみ）をつけ、大きな花（はな）がさき、また種（たね）ができるまで（まで）を丁寧に（ていねい）に描（えが）く。</p>
三・四年生	 <p>「よかたい先生」 三枝三七子：著者                  水俣病（みずまてびょう）事件（じけん）から50年（ごじゅうねん）もの間（ま）、患者（かんじや）の側（そば）に立（た）ち続（つづ）けた医師（いし）、原田（はら）正純（ただしじゆん）。世界（せかい）のあちこち（あちこち）で公害病（こうがいびょう）の人（ひと）たち（たち）を診察（しんさつ）し、水俣（みずまて）から社会（しゃかい）のひずみ（ひずみ）を訴（うた）え続（つづ）けた。原発（げんぱつ）事故（じこ）後の（ご）今（いま）、過去（かこ）を知（し）り、未来（みらい）に活（い）かすこと（こと）の大切（たいせつ）さを伝（つた）える。</p>
	 <p>「ちきゅうがウンチだらけにならないわけ」 松岡達英：著者                  生き物（いきもの）はみんな、いろいろ（いろいろ）なところ（ところ）でウンチ（ウンチ）をするのに、地球（ちきゅう）はウンチ（ウンチ）であふれない。臭（くさ）い、汚（きた）なといわれ（い）れて遠（とほ）ざけられ（られ）がち（がち）なウンチ（ウンチ）が、自然（しぜん）の中（なか）でど（ど）のように役（やく）立（た）っているのか（のか）を楽（たの）しく理（り）解（かい）できる絵本（えほん）。</p>

三・四年生		「ただいま! マラング村」 ハンナ・ショット：著者 お兄ちゃんといっしょに、キリマンジャロ山の麓の村にあるおばさんの家で暮らしているシソ。ある晩、お兄ちゃんと夜中に家を逃げ出して……。兄とはぐれ、路上で暮らすことになった男の子の実話に基づく物語。
		「ともだちは、サティー!」 大塚篤子：著者 夏休み、父さんの仕事にっついて、ネパールにやってきた小学5年生のツトム。せっかくワクワクしていたのに、最悪の出会いをした村の少年パニとふたりきりで放牧の仕事をすることになり……。
五・六年生		「ふたり」 福田隆浩：著者 本の中に隠されたミステリー作家の秘密を探す、准一と佳純。本が大好きな小学生ふたりが、図書館で覆面作家の謎を解きながら育む、淡い恋と友情の物語。 こうだんしゃじどうぶんがくしやうにゆうせんさっかさいしんさく 講談社児童文学賞入選作家最新作。
		「時をつなぐおもちゃの犬」 杉田七重：著者 チャーリーは母が、木で作られた古い犬のおもちゃをととても大切にしていることを不思議に思っていた。それが、初者のドイツ人と出会ったことで、犬のおもちゃの過去が明らかになる……。切ないほどに温かな物語。
		「マッチ箱日記」 ポール・フライシュマン：文 アメリカにわたった少年は、働きに働き、想い出をマッチ箱に残してゆく。生きるささえとなったマッチ箱日記。やがて少年は文字を覚え……。少年の目を通して、移民の暮らしと困難な時代をあざやかに切り取った物語。
		「カブトムシに帰る」 山口 進：著者 昆虫カメラマンの著者が気づいた、虫が暮らす環境の変化。そして環境の変化がもたらした、虫の変化。カブトムシに、そしてカブトムシが暮らす環境に、今何が起きているのか。

☆1学期学年別 ベスト3! (7月11日調査)

1年生	1位	大川凌央くん (44冊)	2位	坂本みなみさん (40冊)	3位	武正 泰くん (38冊)
2年生	1位	山本祐人くん (59冊)	2位	吉岡 勇くん (58冊)	3位	高橋彩人くん (48冊)
3年生	1位	大川優奈さん (73冊)	2位	石川愛大くん (67冊)	3位	三木嵩規くん (66冊)
4年生	1位	下元祥平くん (47冊)	2位	内田 礼くん (36冊)	2位	山本みな子さん (36冊)
5年生	1位	石川恋羽さん (61冊)	2位	下村百葉さん (51冊)	3位	川上流佳さん (34冊)
6年生	1位	松田杏実さん (43冊)	2位	熊岡 好さん (27冊)	3位	立道美鈴さん (26冊)

☆1学期 人気のあった本ベスト3! (7月11日調査)

1年生	1位	ペンギンさん	2位	おおきなかぶ	3位	かにむかし
2年生	1位	月人石	2位	あのとときすきになったよ	3位	つきよのかいじゅう
3年生	1位	ストライプ	2位	ばけものつかい	3位	ええやんそのまま
4年生	1位	イシガメの里	2位	いっぽんの鉛筆のむこうに	3位	100万回生きたねこ
5年生	1位	手塚治虫	2位	手塚治虫全集1	3位	ねこと友だち
6年生	1位	こちら「ラブリ新聞」編集部	2位	森八	3位	永遠の夢